



西枇杷島問屋記念館



柴田家住宅



みどりや

旧美濃路の歴史を歩き 街の「今」と「暮らし」に出会う旅

～ 時を超える街道めぐり～

参加者募集

2026年11月1日(日) 10時～14時(受付9時30分)

町屋群や木造三階建て、屋根神が示す生活と建築の重なりを読み解く街道空間。
地域の語りから、建築が暮らしにより更新されてきたプロセスを体感。

地域まちづくり部会では、歴史の面影が色濃く残る旧美濃路を舞台に、特別なまち歩きイベントを実施します。街道沿いには、歴史的価値が高い「柴田家住宅」や「西枇杷島問屋記念館」をはじめ、全国的にも珍しい木造三階建ての町屋が残っています。屋根の上にひっそりと鎮座する「屋根神様」を見上げる瞬間は、まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような感覚を味わえます。

今回のまち歩きの醍醐味は、単に歴史スポットを巡るだけではありません。「この街で暮らし、歴史を紡いできた地域の方々との対話」を盛り込んでいます。今回は、柴田家住宅 当主「柴田正康氏」にお話を伺います。「美濃路が賑わった歴史」「屋根神と共に生きる暮らし」など、ガイドブックには乗っていない、地元の方の生の言葉や思い出話を通して、この街の温かさと真の魅力に触れてみませんか？

スケジュール

- 9:30 新川橋 橋詰ポケットパーク集合
(清須市土器野) 名鉄「新川橋駅」徒歩3分
まち歩きグループ分け・ガイダンス
- 10:00 美濃路界隈まち歩き(120分)
新川橋 橋詰ポケットパーク～ 飴茶庵 ～ OGURA HOUSE
～ みどりや ～ 柴田家住宅(当主のお話 他)
- 12:00 昼食(八百屋)(60分)
- 13:00 美濃路界隈まち歩き(60分)
西枇杷島問屋記念館～ 橋詰神社 ～ 美濃路道標
- 14:00 美濃路道標にて 終了・解散

ランチ・八百屋



写真はイメージです



八百屋さんは、西枇杷島の町で江戸時代より代々八百屋を営んでいましたが、時代の流れとともに八百屋から和食屋へと姿を変え、現在では地域の方々を中心に多くのお客様に愛される和食店です。

- 集 合：新川橋 橋詰ポケットパーク
名鉄「新川橋駅」徒歩3分、「須ヶ口駅」徒歩9分
- 定 員：20名(先着順)
- 参加費：会員(2,000円)、
(昼食付き) 専攻建築士・ゴールド(1,900円)
非会員(2,500円)、学生(1,500円)

申込み：QRコードから申込み下さい。
メール katsu@taiwa-k.jp



締切り：2026年10月26日(月)
問合せ：愛知建築士会 地域まちづくり部会
C P D: 3単位(予定)

主催：公益社団法人 愛知建築士会 まちづくり委員会

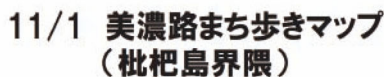
協力：愛知建築士会・名古屋西支部

事務局／〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目10-19 名古屋商工会議所ビル9F TEL 052-201-2201 FAX 052-201-3601

みんなの
あしたを
つくろう

since1951
75th

時を超える街道めぐり



2025 地域まちづくりサミットで、ご紹介した「街のゼミ室 OGURA HOUSE (おぐらはうす)」を見学します。運営するのは、ともに大阪府出身の小倉永慈さんと妻の果実さん。永慈さんは大学院で言語文化学、古屋外国語大で英語や米国文学を教。果実さんは大学の美術学科で染織な作家として活動、手芸作品の販売も。書、CD の棚を詰め込み、自由に読の作家を招いてのイベントを企画



柴田家住宅は、清須市西枇杷島町辰新田65にある町屋。主屋が国の登録有形文化財。庄内川の自然堤防を通る美濃路に面しています。主屋が建てられたのは1896年(明治29年)であり、漆喰壁や土壁などの防火対策が施はれ、飴や菓子の製造・販売を行っています。とで、1939年(昭和14年)には和菓子屋の市から発展した枇杷島市場が名古屋保険会社などに買収されていまし



江戸時代に東海道・宮宿と中山道・垂井宿とを結んだ脇往還の美濃路。「カフェ＆ギャラリーみどりや」はその街道沿いにある築127年の古民家をリノベーションしてオープンした古民家カフェです。店内には観葉植物やレトロアンティークなインテリアなどで彩られ、やすらぎの空間となっています。

併設して「美濃路 BASE」が2020年11月にオープン。古民家舞台空間として、日本舞踊、舞台、寄席、ライブなど色々利用されています。また、公演のない日にはスタジオやギャラリー、SHOPとしても活用されています。



下小田井の市の創始者の一人といわれる、山田九左衛門家の住居を移築復元したもの。明治の初期に建てられ、青物問屋の様式を伝える建物。



山田家は、野口家とともに、日本三大市場の一つである「下小田井の市」を支えた中心的な存在でした。明治の初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える建物です。

① QRコード(グーグルフォーム)よりお申込み下さい。
② メールでお申込み下さい。 katsu@taiwa-k.jp



店裏フォー/

みんなの
あしたを
つくろう

since 1951
75
th